

62

16

小路幸也

ロング・ロング・ホリデイ①

一九八〇年代、札幌の喫茶店(D)を舞台に繰り広げられる、若者たちの群像劇。

五十嵐貴久

エール ①北へ

少女の死が、かつての仲間たちの人生を揺さぶる、切なくもひたむきな青春小説。

新連載小説

一挙2本スタート!



ブックガイド

のんびり、ゆったり……だけじゃない!?

田舎の魅力が

詰まった小説

4

田舎ならではの「ふれあい」が生み出す物語
「村おこし」というエンターテインメント

友清 哲



連載小説

94 荒山 徹

開戦二十一年前 その二 白村江^{はくせんじょう}^②

百済の侵攻に新羅の金春秋は同盟国が必要と女王を説き、自ら交渉の使者となる。

132 あぎのあつこ

とうせいきやんむすめものがたり
当世^{とうせい} 俠娘物語 ガールズ・ストーリー ◎決意篇^①

父と義母に加え、番頭にも疎まれている庄之助を見たおいちは言葉を失う。

158 近藤史恵

嵐の夜 昨日の海は^⑩

磯ノ森を台風が襲った夜、避難先の小学校で光介は芹から衝撃の事実を聞く。

202 中村彰彦

お身代わり^{みか} 疾風^{しつぷう}に折れぬ花あり^①

家康から信松尼を守るために、侍女お竹は我が身を捨てる決意をする。

226 坂木 司

山の学校^⑧

遭難した五人の少年少女の前に一人の男が現われ、仲間たちに緊張が走る。

186 柴田よしき

第三章 死んだ男の肖像⁽³⁾ わらし花子と涼菜の憂鬱^④

「ストーリー男」の姉から依頼を受けた涼菜は、彼のかつての同僚に会いに行く。

250 火坂雅志

鳴動 その二 鬼神^{きんげん}の如く^⑧

「手は汚れるもの」にさる石輪を手にした三成に、左近が歩みよって言った。

264 朱川湊人

感動の最終回！◎連載小説
キミの名前〜エピソード〜 箱庭旅団Season3(終)

「こつやら旅を切り上げる時が来たようだね」白馬の姿の彼が、急に言い出した。

連載エッセイ

258 北大路公子

丸川寿司男の数奇な運命 私のことはほっといてください^①

244



話題の著者に聞く

谷 瑞恵 『異人館画廊』

読者が元気になれる

空想の世界を描いていきたい

243 WEB文蔵

282 筆者紹介

284 文蔵バックナンバー紹介

287 文蔵年間購読のご案内